

抗菌作用健康食品
県社協に150本寄贈

秋田屋本店

養蜂・食品製造の秋田屋本店(岐阜市加納富士町)は26日、新型コロナウイルスの感染が拡大する中で、基礎体力の弱い高齢者らの健康増進を目的に、同社製の健康食品「プロポリスA抽出液」150本(計81万円相当)を県社会福祉協議会に贈呈した。

ミツバチが樹皮や木の芽から集めた樹液をアルコールで抽出してつくる「プロポリスA抽出液」は、抗菌・抗酸化作用などがある。同協会に30ミリ入り150本を贈った。同協会から県

プロポリスA抽出液を贈呈した中村源次郎社長(右から3人目)＝岐阜市下奈良、県福祉・農業会館



内の高齢者福祉施設に寄贈される。

同市下奈良の県福祉・農業会館で贈呈式があり、中村源次郎社長が同協会の小林政人常務理事に目録を手渡した。中村社長は「感染拡大は非常に心配だが、少しでも役に立つことができれば」と語った。

(湯浅裕作)